



人として
語り継ぐべきことがある

言葉も国境も超えて

次の世代に伝えたい

感動の実話

生き抜こうとした悲しい別れもあった心のふれあいもあった
ソ連と満州の国境で終戦を迎えた少年たち120人の想いが
いま現代の15歳に伝えることは...



ソ満国境 15歳の夏

監督・脚本 ●
松島哲也
原作 ● 田原和夫
(築地書館)

製作 ●
「ソ満国境 15歳の夏」
製作委員会

金澤美穂 木島杏奈 澤田怜央 柴田龍一郎 清水尚弥 清水尋也 三村和敬 六車勇登 吉田憲祐 (50音順)
金子 昇 大谷英子 田中律子 二階堂 智 長本批呂士 上田耕一 小林勝也 香山美子 (特別出演)

田中 泯 夏八木 勲

プロデューサー ● 野田慶人 / 宮澤誠一 / 松島哲也 脚本 ● 友松直之 音楽 ● 上野耕路 撮影 ● 奥原一男 照明 ● 田部 誠
録音 ● 山田 均 編集 ● 宮澤誠一 / 清水和貴 助監督 ● 石田和彦 / 吉田至次 制作担当 ● 宮川健治 製作協力 ● 日本大学芸術学部 / 映画学科
宣伝デザイン ● プランニングOM / オフィス63 / 大久保 篤 宣伝広報 ● スリーピン 配給 ● バンドラ+ジャパン・スロウシネマ・ネットワーク ©「ソ満国境 15歳の夏」製作委員会



70年の時を超えて…いまだからこそ伝えたい

300キロの道のりを必死に生き抜いた120人の中学生たち!

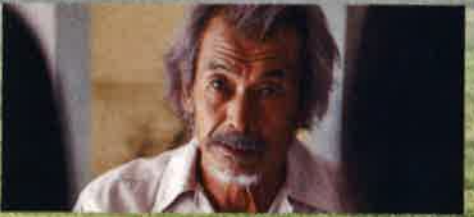
●日中戦争時下、ソ連と満州の国境近くに勤労働員として送られた新京第一中学校の生徒たち。昭和20年8月、ソ連軍の爆撃が降り注ぐ中、ソ満国境に取り残され、過酷を極める必死の逃避行が始まった…。原作は田原和夫「ソ満国境 15歳の夏」。10年の構想と製作期間を経てついに完成した感動作だ。

すべては一通の招待状から始まった――

●未曾有の打撃を受けた東日本大震災から1年後の福島。15歳の敬介は仮設住宅への避難を余儀なくされていた。中学最後の夏。放送部の作品づくりができないことを残念に思う敬介と部員たちだったが、突然の招待状が舞い込んでくる。見知らぬ中国北東部の小さな村から、ぜひ取材をしてほしいというのだ。期待と不安を胸に果てしない平原が広がる中国へと旅立つ敬介たち。招待主は村の長老・金成義。彼の口から語られたのは、67年前、15歳だった少年たちの壮絶な体験だった…。

中国ロケを敢行! 様々な苦難を乗り越えついに完成!

●監督は松島哲也。中国で3000km以上に渡る調査活動の末、中国ロケを敢行。反日デモで国外退去に遭うなど、様々な苦難を乗り越えながらもついに完成。キャストには、『たそがれ清兵衛』(02)、『永遠の0』(14)、NHK連続テレビ小説「まれ」など、数々の話題作に出演する田中泯。さらに、日本アカデミー賞、芸術選奨文部科学大臣賞など多くの賞を受賞、惜しまれながらも本作が遺作となる名優、夏八木勲。この他、香山美子(特別出演)、金子昇、大谷英子など豪華キャストが脇を固める。戦火で生きる15歳、現代に生きる15歳には、TVや映画で注目を集めている、いま最も旬な若手俳優陣が総結集した。



【田原和夫原作「ソ満国境 15歳の夏」(築地書館)】

●終戦間近の昭和20年5月、勤労働員としてソ満国境付近に送られた新京一中の三年生たち。敗戦直後、ソ満国境に置き去りにされた少年たちが故郷へ帰るまでの過酷な実体験を、生存者の一人が綴った壮絶な記録だ。

監督・脚本 ● 松島哲也 原作 ● 田原和夫

主演 ● 田中泯 夏八木勲 香山美子 金子昇 大谷英子 田中律子 二階堂智 長本世良士 上田耕一 小林勝也

ソ満国境 15歳の夏

平成29年 11月5日 (日) 茨城県民文化センター小ホール

●上映時間 / ①午後2時30分～ ②午後5時30分～

前売券 1,000円 (当日券 1,300円) 全席自由席

前売券発売所 県民文化センターチケット取扱所

●主催 / 茨城県日中友好協会・水戸市日中友好協会 Tel 029(224)1169 水戸市大町3-4-36

●後援 / 茨城県、茨城県教育委員会、水戸市、水戸市教育委員会、連合茨城、茨城新聞